

1 予算編成の概要

政権交代により日本の全地域が画一的な発展ではなく、地方へ権限を委譲する地方分権から、地域主権を加速させた政治をしようとしています。また、子ども手当や農業者戸別所得補償制度などさまざまな政策を打ち出しています。

平成22年度国は厳しい地方財政の配慮から地方交付税を対前年度1兆733億円増と赤字国債を発行して対応を決めました。国も地方も決して明るい財政状況ではありませんが将来に責任のある財政運営が求められています。

南部町における普通交付税については、合併算定の優遇措置が平成27年度から減少することにより、最終的には約4億円が減額となると推計しています。今から一本算定となっても耐えることができるようなメリハリのある予算編成が必要となります。

南部町は地域振興協議会を平成19年度から立ち上げ、「自助・共助・公助」のまちづくりを進めてきた先進的な町であります。平成22年度予算編成においては、地域振興協議会発足から3年を経過し、特に地域主権が進んでいくまちづくりに力を入れた予算としています。

南部町一般会計予算は、西伯小学校教室棟改修、体育館改修として3億7,933万5千円を3月補正に予算化したため、15か月予算としては当初予算分63億7,500万円と合わせて67億5,433万5千円でスタートすることとなりました。